

小牧・長久手の戦い

發 端

天正10年（1582）6月、織田信長が家臣の明智光秀の手にかかり、本能寺で討たれた。そのとき、信長の三男信秀を大将に、光秀討伐軍を指揮したのが、羽柴（後の豊臣）秀吉である。秀吉は、信長の後継者を決める清洲會議からしばらくすると、柴田勝家と対立し、天正11年賤ヶ岳の戦いで破った。こうした中で、信長の二男信雄は、当初は秀吉と友好関係をもつものの、信孝が秀吉に岐阜城を追われ自害した後からは警戒心をもつようになった。信長の後継者の立場を事実上確立した秀吉に対し、不満を感じる信雄は、織田家の同盟者であった徳川家康に助けを求めた。家康は、いつかは秀吉と対決しなければならないと考えていたので、これに応じた。天正12年3月6日、信雄が秀吉に内通していた三人の家老を殺害したことで、「小牧・長久手の戦い」は始まった。

主戦場は尾張に

秀吉そして家康・信雄の両者とも、当面は伊勢国、特に信雄の本拠長島城（三重県桑名市）のある北伊勢を戦闘場所と想定していた。しかし、家康・信雄の予想に反し、美濃國大垣城主・池田恒興（勝入）と美濃国金山城主・森長治が犬山城（愛知県犬山市）を攻撃、落城させた。慌てた家康は、池田・森の侵攻を防ぐため、自軍の一部を北伊勢から北尾張へ急遽転戦。3月17日、羽黒（犬山市）まで陣を進めてきた森軍を、家康の部将酒井忠次らが敗って、形勢を立て直した〔羽黒の戦い〕。一方、北伊勢では秀吉軍への守りが不足し、信雄領伊勢国の南半分は、ほぼ壊滅状態となる。

羽黒で敗戦したものの、敵地犬山に拠点をもつことに成功した秀吉は、^{がくでん}楽田（犬山市）へ着陣、周辺に砦を築いた。楽田から南方約4.5kmの小牧山（愛知県小牧市）に家康も陣を移し、近辺に砦を作った。信雄も長島から小牧山に移

進軍

入り、膠着状態を破って秀吉軍は岡崎侵攻のための別働軍を出した。史記類をもとにした通説では、この作戦の発案者は秀忠で、「家康配下のほとんどの部隊は小牧山にいる。今、小牧・鳴海・岡崎を突破すれば、家康軍に乱れが生じ、そこを突破すれば、徳川軍の勝利が確定する」と提案。最初はこの案に賛成しなかった秀吉も、恒に押され、ついに承諾したとされる。しかし近年の研究者の普請（工事）、行軍の規模、ゆっくりとした移動日程から、この作戦は既に行動している間に、計画通りに実行された。

城の落城

7日遅くとも8日には秀吉方の岡崎侵攻隊の動きを把握、
自身が小幡城（名古屋市守山区）へ進んだ。岩崎城主・
氏次を道案内役とした榎原康政ら4,500人の先発隊と、
の本隊が秀吉方を追撃に向かった。

日早朝、岡崎侵攻隊の先鋒池田隊は、岩崎城（日進市）
通りかかった。恒興は岡崎への道を急ぐため、この家康
攻めずに通過しようとしたが、岩崎城を守っていた氏次
ごろ富士ヶ根（長久手市富士浦）から仏ヶ根（長
北部）、前山（長久手市城屋敷の東部）に陣を構
崎城を落とした池田恒興のもとへ、信吉大敗の報

これを攻め落す手城主の加戦兵とともに久手城趾は、た。恒興は急いで馬首を返し、すでに布陣を終え軍に対し、恒興は自分の長男元助を右翼に、娘婿の可を左翼に配した。両軍は激しく戦ったが、勝敗なか決しなかった。しかし昼ごろ家康の本営に突長可が、井伊隊の銃弾を頭に受けて戦死（享年27歳）。

午後1時であった。池田恒興は

安藤直次に討たれた。恒興49歳、元助26歳で、池田父子の塚は、現在も国指定史跡として古戦場に残る。

（和 睦）

長久手の戦いで勝利をおさめた家康は、ただちに城を経て小牧山に戻った。一方秀吉は4月9日昼ごろの本営で岡崎侵攻隊の敗戦を知り、すぐに大軍にて救援に向かった。しかし、ときすでに遅く、龍谷で進んだものの、そのころには家康は小幡城まで

戻っており、秀吉軍は、なすすべ

のま
ただちに松
工陣を構えた。
地の利を得た
隊列を乱し
の攻撃に徳川
かしこのと
のを知った。
って、北方へ

その後、両軍は小牧・楽田周辺で小競り合いをして、4月下旬に秀吉が美濃国鵜沼（岐阜県）に移動する。閩地域も尾張西部へ移った。5月に加賀野井城・竹鼻（岐阜県羽島市）、6月に蟹江城（愛知県海部郡蟹江町）で局地戦があったが、11月になると、桑名から長島（三重県桑名市）へ移動した。秀吉は、長島城にこもる信雄を単独で和解するため、大義名分を失った家康も兵を引き、約8か月わたった「小牧・長久手の戦い」は、幕を閉じた。

從六

を推し進めていく。家康は、結果的に秀吉に臣従。その実力を全国の大名に認識させ、秀吉政権下での地位を保ち、徳川政権樹立の足がかりを固めた。



交通のご案

■古戦場公

- | | |
|------------|--|
| 名鉄バス | 「名鉄バスセンター」発
「長久手古戦場駅」下車 |
| 市営N-バス | 中央循環線「長久手古戦場」駅下車 |
| 東部丘陵線(リニモ) | 「長久手古戦場」駅下車 |
| 車 | 東名高速・日進JCT経由
名古屋瀬戸戸道路・長久手IC
「古戦場南」交差点北 |

■色金山歷

- | | |
|----------|---|
| 名 鉄 バス | 地下鉄東山線「藤が丘」発[行き]、または「菱野団地」行き |
| 市 営 N-バス | 福祉の家線・三ヶ峯線・北高線 |
| 車 | 東名高速・日進JCT経由
名古屋瀬戸道路・長久手IC
「古戦場南」交差点を北へ |

発行 長久手市(生涯)
〒480-1166 愛知県長久手市
TEL 0561-56-0611
<http://www.city.nagakute.lg.jp>

卷之三